

【法人の概要】

代表者名	松村 孝典		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町大平10061		電話番号	0551-36-3200		
ホームページURL			E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和52年3月23日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		10,000	千円	100.0 %
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
その他	団体(者)					
設立経緯等	<p>設立目的: 山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。</p> <p>経緯概況等: 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。</p>					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H19年度	H20年度	H21年度
事業1 八ヶ岳牧場業務	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	225,420	228,602	230,913
事業2 まきば公園業務	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	15,637	15,847	16,037

【組織】

4月1日現在の人員	年度	平成20年度					平成21年度					平成22年度							
		職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー 員	派遣 ・ 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他
役員	理事(常勤)	1			1		1			1			1			1			1
	理事(非常勤)	8			2		6			8			2			6			6
	監事(常勤)	0					0			0			0			0			0
	監事(非常勤)	2			1		1			2			1			2			1
	評議員	0					0			0			0			0			0
計	11	0		3	1	7	11	0		3	1	7	11	0		3	1	7	
職員	管理職	2	2				2	2				2	2			2	2		
	一般職員	19	19				19	19				19	19			19	19		
	臨時職員	1				1	1				1	2			2				2
	非常勤職員	0					0					0			0				0
計	22	21		0	0	1	22	21		0	0	1	23	21		0	0	2	
プロパー職員の年齢構成 (H23. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計											
	男性		1	6	8	4		19	役員				※						(千円)
	女性		1	1				2	常勤										※
	合計	0	2	7	8	4	0	21	職員				41						(千円)

※常勤役員は、1名のみのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	150	0
	受取会費	0	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	202,741	205,888	207,809	1,922
	自主事業収益	42,924	41,102	37,316	△ 3,786
	受取補助金等	0	0	0	0
	雑収益	29,979	16,659	22,782	6,123
	経常収入 計	275,794	263,799	268,057	4,259
	事業費	236,313	239,903	242,601	2,697
	うち人件費	142,192	152,569	144,409	△ 8,160
	管理費	6,527	7,032	6,827	△ 205
	うち人件費	4,744	4,546	4,350	△ 196
	経常支出 計	242,840	246,935	249,428	
	当期経常増減額	32,954	16,863	18,630	1,766
	経常外収入	0	4,256	0	△ 4,256
	経常外支出	28,964	14,708	18,176	3,468
	当期経常外増減額	△ 28,964	△ 10,452	△ 18,176	△ 7,724
当期正味財産増減額	3,989	6,412	453	△ 5,958	
正味財産期首残高	33,965	37,954	44,366		
正味財産期末残高	37,954	44,366	44,819	453	

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
財務状況	流動資産	31,262	27,004	32,358	5,355
	固定資産	101,624	104,355	98,206	△ 6,149
	資産 計	132,886	131,359	130,565	△ 794
	流動負債	22,063	11,327	18,791	7,464
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	72,869	75,666	66,954	△ 8,712
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	94,932	86,993	85,745	△ 1,248
	正味財産	37,954	44,366	44,819	453
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	2,221	3,808	5,213		

(単位:千円)

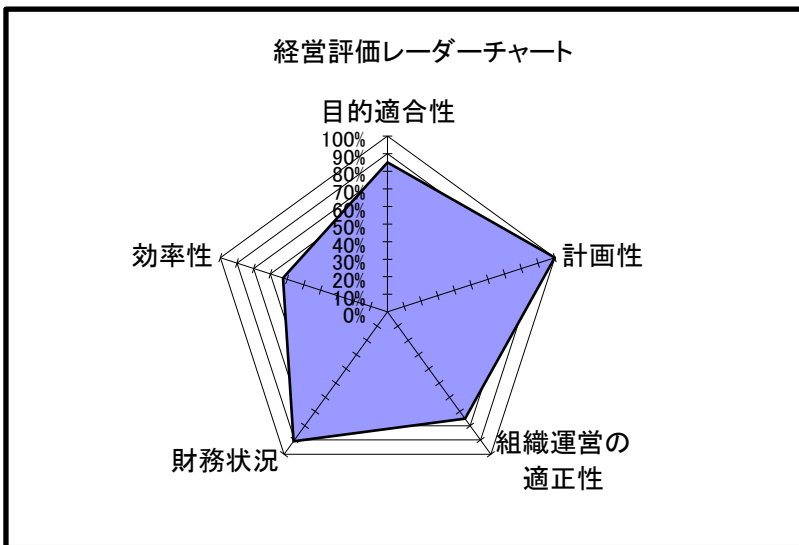
項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	150,495	158,899	150,373	△ 8,526
	人件費以外の委託金	52,246	46,989	57,436	10,447
	委託金 計	202,741	205,888	207,809	1,921
	県支出金 計	202,741	205,888	207,809	1,921
	県の財政的関与の割合(%)	73.5	78.0	77.5	△ 1
県貸付金残高	0	0	0	0	
県債務負担実際残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立八ヶ岳牧場」の管理および「県立まきば公園」の管理は、5年間の債務負担行為に基づき管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	17	85.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	40	90.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	20	62.5%
合計		33	132	109	82.6%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県立牧場の活用により、農家家畜の受託と肉用牛の生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興をはかるため、指定管理者として基本協定に基づく業務を行い、事業目的の達成に努めている。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、経営計画並びに事業運営合理化計画に基づき、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。
組織運営の適正性	平成18年度から指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である利用料収入で充当して運営している。利用料収入は目標額を下回ったものの、支出の削減に努めたことにより経常損益はプラスであった。
効率性	指定管理者として管理運営しており、運営方法の効率化を図ってきたところであるが、更に運営経費の削減率を高めると共に、利用者数の確保と創意工夫による効率的運営が必要である。
総合的評価	設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高いが、近年の社会経済情勢の変化により利用料収入が減少傾向で推移しているため、受託頭数の確保が課題である。今後も、より一層の合理的経営を計画的に進めていくと共に、自主財源の確保に努める必要がある。



対応策	八ヶ岳牧場業務については、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービス強化に努め、受託頭数の拡大を図ると共に運営経費の削減に努める。 まきば公園業務については、新規イベントの企画や内容の充実を図り、利用者数の拡大を図る。牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者へのサービス向上を図り、情報の積極開示に努める。 公益財団法人の認定を目指し、自らの責任で内部統治できる組織体制に移行する。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い適切に受託事業等を実施している。 本県の畜産振興の推進に寄与していることから、十分適合している。
計画性	年次計画等に策定された中期経営計画に基づいて、効率的な組織運営が行われており、今後も適切な管理・運営の継続が見込まれる。
組織運営の適正性	協会の運営は、最小限の役職員によりの確かつ効率的に行われており、人事・財務等の内部管理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	利用料収入が減少したが、事業経費の削減等に努めた結果、経常損益は5期連続で黒字となり、収益性が向上しており、安全な経営が行われている。
効率性	更なる利用者サービスの向上と積極的なPR活動を行い、利用者数の確保に努める必要がある。また、今後は人件費の抑制だけでなく意識改革を進めることで人材を有効に活用していくことも必要である。
総合的評価	当協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力や意識水準から総合的に高く評価できる。今後は、より一層の合理的な経営や自主財源の確保に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">D (~50%)</div> </div>
※ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年4月から県立ハケ岳牧場等の指定管理者となり、利用者サービスの向上や経費削減などの経営努力を行っている。 数値目標としている、まきば公園の入園者数が昨年に比べ大幅に増加するなど、改善が図られている。 今後は、職員の高齢化が進むことから、人件費の抑制や組織の新陳代謝の検討を行うとともに、施設利用実績の改善につながる取り組みを引き続き行っていく必要がある。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

本県畜産の安定的発展に寄与するという公益性の高い設立目的に沿って、積極的な情報開示を行うとともに、公益財団法人として自らの責任で内部統治を行う体制に移行する。
ハケ岳牧場の管理運営については、優良な子牛生産による農家への販売と育種改良並びに預託牛への受精卵移植等の繁殖サービスに努め利用頭数の拡大を図る。
退職者がある場合は、若年齢層の雇用を検討するなど、人件費の抑制や組織の新陳代謝に努めていく。
まきば公園業務については、新たなイベントの企画や内容を見直し、顧客満足度の高い公園を目指していく。